



【春季永代経】

5月14日、法妙寺本堂にて春季永代経を勤めました。時間短縮や弁当配布など新型コロナウイルス感染症対策を講じ、3年ぶりに皆さまをお招きできたこと、大変嬉しく思います。

永代経とは、私たちに先立って人生を歩み終えていかれた大切な方がいることを思い、そのご縁で自分自身が仏法に触れる機会を持ち、またそれが永く引き継がれていくよう勤める法要です。

お勤めをしながら、「子どもの頃、今は亡きおばあちゃんと一緒に勤めたな」「前回の永代経ではハイハイしていた息子が、元気に走り回るようになったな」などと思っていると、自身が大きな時間の流れに抱かれているような感覚になります。これからも、永くお勤めしていきたいものです。

読経のあとは、演奏家の方による特別コンサートがありました。いつでもどこでも簡単に音楽を聴ける現代において、本堂のような非日常的な空間で、奏者と同じ目線で、会話を楽しみながら音楽に触れるというのは、とても特別な音楽体験でした。

仏説阿弥陀経には「譬如百千種楽 聞是音者 皆自然生 念仏念法念僧之心」（極楽ではそよ風が美しく音楽を奏で、これを聴く者は皆、自然と念仏・念法・念僧の心が生まれる）という言葉があります。この教えが説かれたのは2500年ほど昔ですが、当時の人々も音楽を聴くと安らかな心持ちになり、極楽を思い浮かべていたのでしょう。

【パンフレットができました】

ホームページの内容をまとめたパンフレットを制作いたしました。ご家族やご友人に法妙寺をご紹介いただくときなどに便利です。住職にお声いただければ、名刺や地図とセットでお渡しいたします。



【ことばを味わう】

“人間は悪くなろうと努めたとて、それで悪くなれるものではありません。
また業に催されればどのような罪でも犯します。
あなたは無理をしないで素直にあなたの心の本当の願いに従いなされませ。”

倉田百三(2003). 出家とその弟子 岩波文庫 pp.65.

「出家とその弟子」というお話で、悪行を悔いる左衛門に親鸞聖人が語りかける言葉です。私たちは善くなろうと願っても叶わず、悪くなろうとしてもなれるものではありません。

「どうしてあんなことを言ってしまったんだろう」「あんなことしなければよかった」と後悔することもよくあります。善と悪のあいだで、悩みながら生きていきます。

しかし、それでよいのです。自分の力ではどうにも救われないと感じられ、「南無阿弥陀仏」と如来の本願に身をゆだねたとき、まさにありのままの自分として救われるのです。

【行事予定（法妙寺）】

内容	日時	場所
歓喜会（お盆法要）	8月11日（金） 午前4:30～9:00の間に お越しく下さい	法妙寺 第一墓地、納骨堂
歓喜会（お盆法要）	8月12日（土）	法妙寺 第二墓地
秋季永代経	9月14日（木） 10:00～14:00 ※	法妙寺 本堂
報恩講	11月14日（木） 10:00～14:00 ※	法妙寺 本堂

※新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて変更する可能性があります。

変更の場合は、ホームページ掲載または月参りにてお伝えいたします。

【行事予定（東別院）】

内容	日時	場所
暮らしの朝市 詳細： https://higashi-asaichi.jp/	毎月8,18,28日 10:00～14:00	東別院 境内
夏のつどい 食育のお話を聞いたり、食事やゲームを楽しむ子ども向けのイベントです。ご興味のある方は、住職にお声がけください。 対象：小学3年生～中学3年生 参加費：500円 申込締切：8月7日（日）	8月25日（金） 10:00～16:00	東別院 対面所

【編集後記】

先日、東別院の初参式（初まいり）に子どもたちと参りました。長女（生後6ヶ月）が泣き出さないか、長男（3歳6ヶ月）が本堂で走り回らないか、気を揉みながらのお参りでしたが、それも含めて良い思い出になりました。子どもたちはマスコットキャラクターの千鶴ちゃんとの写真撮影や、いつもと違う雰囲気の本堂を楽しんでいるようでした。

※東別院の初参式は毎年4月第1日曜日に開催され、どなたでもお申し込みできます。